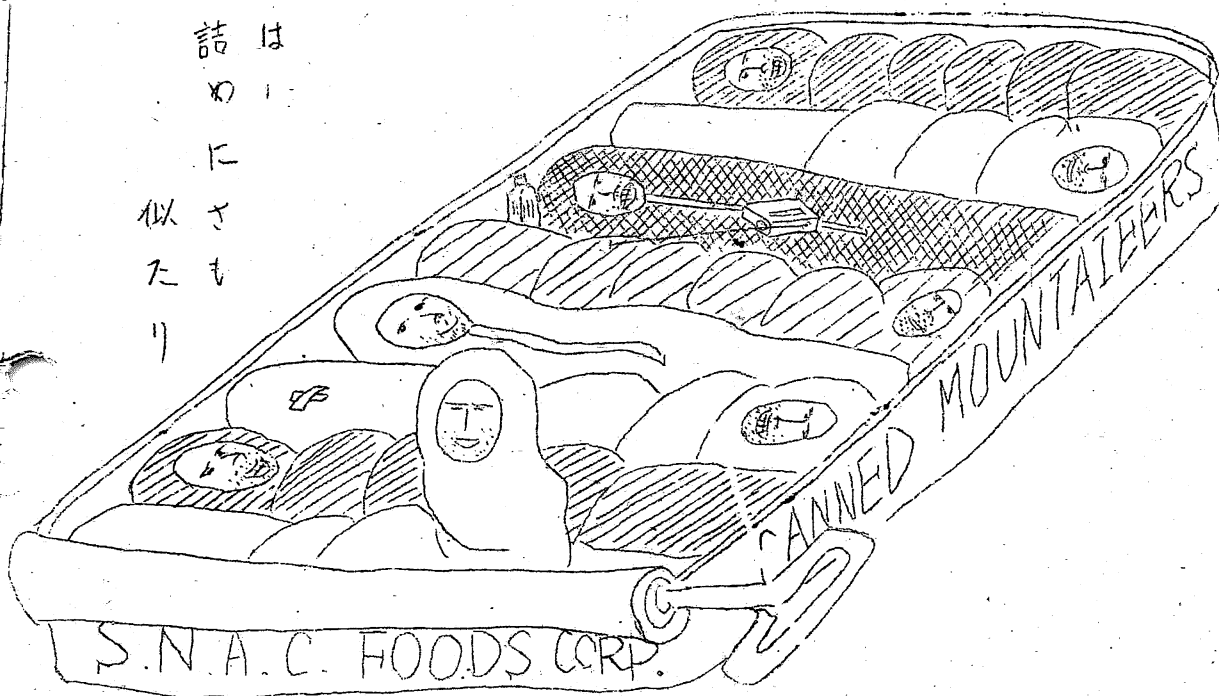


# SNACZ

年度

## 冬季山行報告書

冬  
カンは  
テンは  
詰りに  
よに  
似たり



信州大学 長の山岳部

巻頭に

今年の冬山合宿も無病息災や〜知知。  
余裕しゃくしゃくとはようゆうた。これ  
で来年はもうすこしお。かないことが  
出来るな、ベースが出来たさかいに。  
でもいよ一番気になる。とるのは、これ  
を切。とる今、試験の近いせいからもし  
れんが部員の勢・部活動が中だるみに  
な。とること。早う春山に飛び出して  
いく時が来て、この沈滞が一時のこと  
であ。てほしい。

鹿島五竜概念図

I 期間 11月15 ~ 11月17日

II 場所 赤岩尾根 ~ 遠見尾根

III 人員 C L 藤松太一, 小川, 北沢, 西川

IV 記録

11月15日 ㊦

松本(6:02) — 大町(7:45) — 西股手前の湯提(7:55)  
— 高千穂千手前(9:30 ~ 40) — 高千穂平(10:10 ~  
20) — パン(11:05 ~ 20) — 冷池小屋(12:20)

雨の降る中赤岩尾根を登る。全身に湿り気が加わり、  
頃、冷池の小屋に到着。よ。に水かた雨の降りが激しく  
なりホッと一安心。

11月16日 ㊦ → ㊦

出発(8:10) — 布引岳(9:30 ~ 40) — 鹿島槍前峰(10:15)  
— キレット小屋(12:05 ~ 20) — 五龍手前(12:35 ~ 40)  
— 五龍岳(3:45) — 五竜小屋(4:50)

1) やりや 冷池の小屋を飛び出し、(1) だたした歩く。キレットの  
小屋を通過して五龍に向かう。(1) かけ人歩き。五龍の  
peak に向かって進む。もう暗くなり初めて来た。小屋に飛  
び込む。またまた雨。激しく。こまて来てよかた。

11月17日 ② → ③

出発(7:00) — 西遠見(10:30) — 中遠見(11:30)

— 遠見小屋(11:30) — スキーニ場(11:30) —

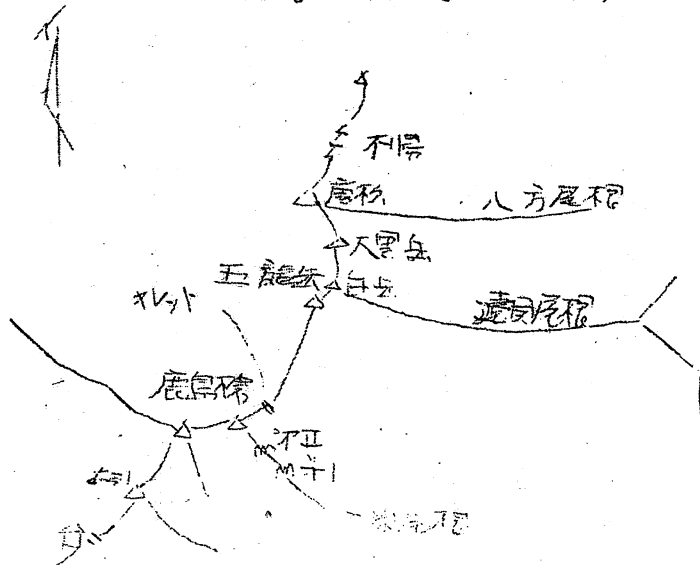
神城駅(2:10)

後立の稜線からはナゲテ(7:50)風も大きく降り陽もさ  
まきて、おかげでいい天気とほろほろと晴れ、天気も悪くは  
5)

### 反省

今回の冬山偵察は冬山台地の大部分の修正により全く意味が無く、  
結果的には今回悪天への為、一番の目的の栗尾程が全く見えず  
後はキレット、五龍の外ヤへの道を所々に此れ逃げる様に下山して  
すきなかつた。

今後の山行でも合宿にでも、この後立山の稜線にトレースを  
残すべく白の布の巻を確信しやめ。る。



# S47年度冬山合宿

12月24日 悪天の為 一日入山延期

12月25日 起床(4:00) ESSEN 終了(5:00) 松本発(6:10) ⊙  
五竜遠見スキー場(8:00) ⊙ リフト(8:40) リフト(9:10)  
荷物着クマオバズボ"を付ける(10:00) 出発(10:40) ⊙  
遠見小屋(11:40) (12:40) 小遠見通過(13:50)  
T.S.(14:10) 設営終了(14:30) 赤坂(15:40) ESSPH開始(16:20)

----- 礼  
快適なリフトにて下界より別小屋を付ける。以後は不快な登りで  
死にとうであつた。(it 日記)

12月26日

PA 川原、沢、秋田、部下、吉川、尾崎

T.S.発(7:10) 地蔵の頭(8:00~8:10) ⊙ 下池(8:30~9:10)  
地蔵の頭(9:50~10:00) (10:40~10:50) T.S.着(11:25)

DEPO は一人当り20kg、非常に重い。昨日の入山の時より重いので  
おなひかしら、リフトに乗って降りた。

PB 川原、秋田、北沢

T.S.発(7:00) ⊙ 中遠見(7:50~8:00) ⊙ DEPO 西遠見(9:00~9:30) ⊙  
(10:20~30) ⊙ T.S.着(11:00) ⊙

PC 西遠見までPBといつは。(10:20~10:30) ⊙ 五竜小屋(11:10) ⊙

白岳の上に出るとブワ-と風に吹かれ、あわて小屋に飛び込み、  
ザイルをかぶる。

12月27日 秋田氏下山

本隊 T.S.発(7:30) ⊙ 強し。大遠見(8:25~45) 西遠見(9:30~40)  
DEPO地(10:30~11:00) ⊙ 西遠見付近(1本)(11:35) 登りのエライ戸  
中(丁地)着、交信(2往)のため(12:05) 救援隊と合流(12:  
五竜午前 五竜小屋着(14:20) ⊙

2日の行動を1日で行うのは、本当に超人的アチーブ、我々のス  
ン運命だ。

工作隊 菊池、藤松、小川

起床(11:00) ESSEN(17:00) 本発(8:10) (9:00~9:00)

五竜Peak O (9:25~35) フックス工作 (9:45~50) 小屋着 (10:15).

交信の時本隊に招待をうけ 荷上げを伝う。

2月28日 五竜小屋にて。

⊗ → ⊗

200M → 100M → 20M → 10M 視界

今日はやっぱし 沢庵でした。しかし風はあまりつよくなし  
肺リテントの中で あるいは○○とし あるいは読言に あるいは  
は黙々と○○としていました。時々ホキジに行こうとするのを  
がテントのせせせせと、こらんだ"リ"もしたし、特に赤バー"ん"が  
テントの布スミで、「イジケタ、イジケタ」とか言って、小さくおどっていました。  
又又、太一が"コイコイ"して、土に突っついて、ヤマ公をえ見せけ  
……イジケ イジクしていたとか。

長い~~~~ 一日を、ようやく南の中に 白い夜から 黒い夜になり  
ました。明日は晴れるでしょうか。テント様、今日の晩飯は?

数々の声。

2月29日

- 本日モきのうにフッいて 沢庵~~~~
- まよまよ 風が強く、まよまよ、メシマズク なるゾウ、えシ
- 風強くホキジウチに行くのは死ぬ おもいの一日であった。トチカ  
パーティーは、鹿島槍まで行ったとか、(のスト)には感心するわい。

2月30日

- 本日もフッいて 沢庵~~~~ 沢庵 沢庵
- 相もかわらず 強い 吹き出し があります。

12月31日 ⊗ 風やや強い

起床 (4:30) 再び起床 (7:00) ESSEN (8:00) 出発 (12:00)  
Peak (1:00) テント着 (2:25)

お酒を飲んで、紅白歌合戦を聞いて、自由にお祭り。

1月1日 風強い ⊕ → ⊕ → ⊗

ESSEN起床 (4:30) 朝倉 (5:20) 五竜小屋出発 (6:05)

(7:00 ~ 8:10) 磨松小屋 (9:00 ~ 9:45) 山頂 (10:15 ~ 20)

テントテント 磨松小屋 (10:30 ~ 50) (11:35 ~ 45) 才三小屋下 7.5 (12:20)

12-2  
5~13(16)

12-2



# 会計報告

<72年度冬山合宿会計報告> 西川

収入

56000円 (7000 × 8人)  
4000 (炊火田)  
+) 1500 (差込入付)  
61500円

支出

33350円 Essen 費  
3550 煮 飯  
11000 交通費  
+) 2250 鍋釜上  
50450円

残高

11050円

61500  
- 50450  
11050円

合宿参加者に返済。

## 装備係

検

藤本

72年冬の様な天気はなかったと知り、特に明記するほどの  
の装備的な装備であった。

とりわけ防寒点を考え足音してみる。

ガソリンの事について、15日以内の計画で実際は9日以内で下  
し20日中8日を持ち帰り、遠足より小屋に入る時に12位無くて

いる。結局1人当り160cc~140ccの範囲に入る。

+αについては行動中にフタがあった様な場合、今回は朝半  
人な身があと制限などをした。あらかじめガソリン用のホリを  
決めそれを完全なものにしておいて入山した方が不慮の場合  
の原因はさう、ガソリンの数量計算は150cc × 人数 × 日数  
+αで良いと知り。

その他

冬シーズンについては内フレーム等問題無かったと知り。

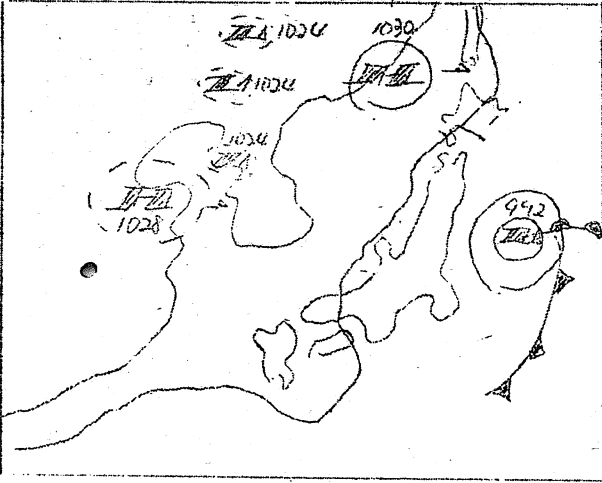
背負子は団装として加えた方がよいのではなかと知り。

又その利用も考え、実践をすすめる。

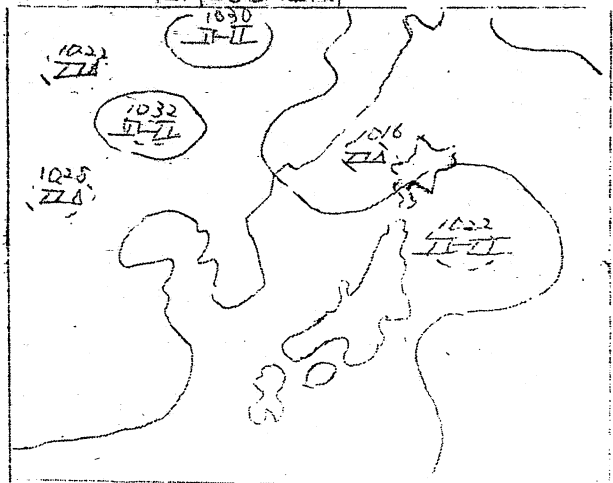


2020

12月25日12時



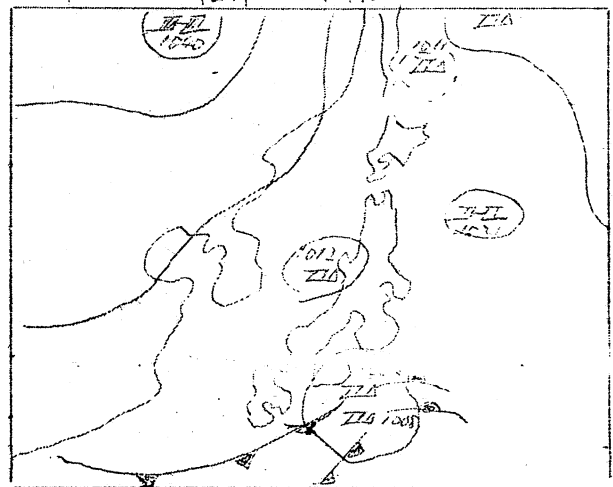
12月26日12時



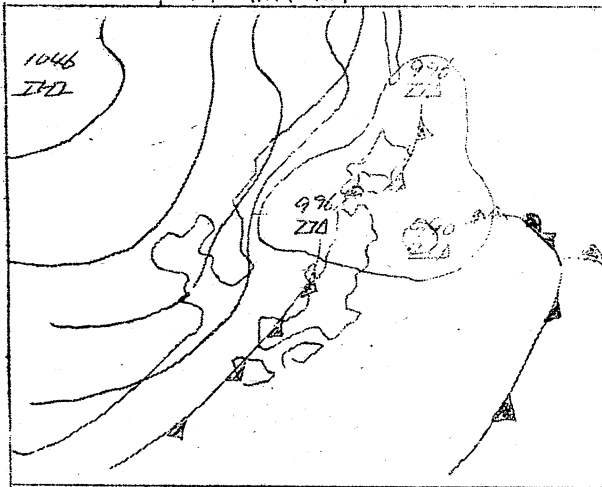
12月27日



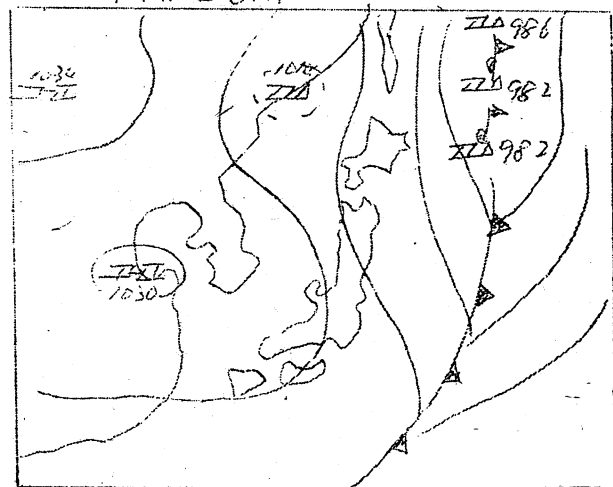
12月28日12時

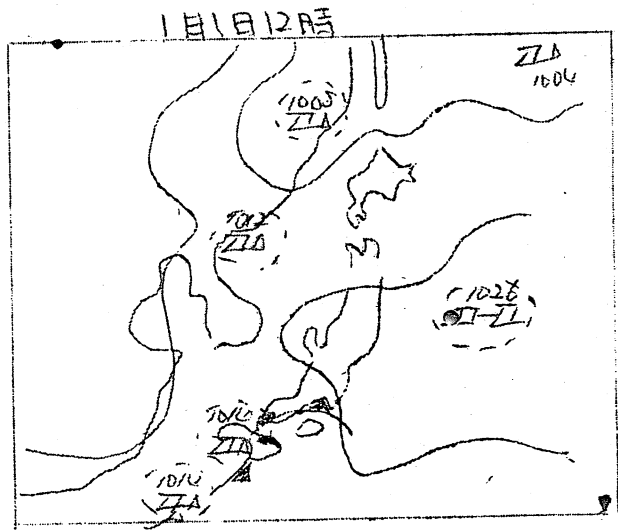
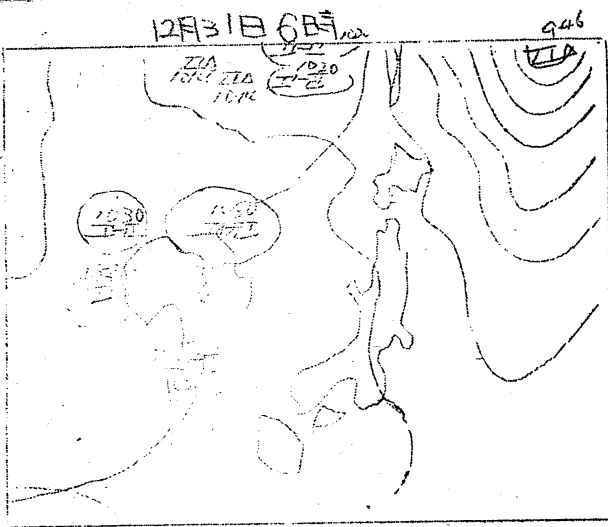


12月29日12時



12月30日6時





今回の冬山は非常に暖かな冬山であったと思われる。五龍小屋においても  
 シラフから出て眠るという事さえあった。

又完全に冬型になったかと思われすくなくすいりあり。その点ではこの時期  
 でありながら非常に不安定であった。加之1日の晩なには八方尾根  
 の2000m付近にて雪が降った。

これらの傾向は、数年見られる。ただ単に現象として眺めれば雪の量  
 が少ないと言え即断はしかぬが、昔と比べては以上の事が  
 言える。これらの点を考慮するならば今後の山行の準備は多少変  
 えるとも言える。

今回長巻として温度の測定、雪の量等、もっと客観的の意味を有する  
 報告をすべしである事を反省する。